

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2006-505458

(P2006-505458A)

(43) 公表日 平成18年2月16日(2006.2.16)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 25/20 (2006.01)	B 6 5 D 25/20 P	3 E 0 6 2
B 6 5 D 17/00 (2006.01)	B 6 5 D 17/00	3 E 0 9 3
B 6 5 D 17/38 (2006.01)	B 6 5 D 17/38	5 C 0 8 4
G 0 8 B 13/24 (2006.01)	G 0 8 B 13/24	5 K 0 1 2
H 0 4 B 5/02 (2006.01)	H 0 4 B 5/02	
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 20 頁)		

(21) 出願番号 特願2004-540411 (P2004-540411)
 (86) (22) 出願日 平成15年9月29日 (2003.9.29)
 (85) 翻訳文提出日 平成17年6月1日 (2005.6.1)
 (86) 国際出願番号 PCT/CA2003/001485
 (87) 国際公開番号 W02004/032081
 (87) 国際公開日 平成16年4月15日 (2004.4.15)
 (31) 優先権主張番号 10/261,962
 (32) 優先日 平成14年10月1日 (2002.10.1)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 591074002
 アルキャン・インターナショナル・リミテッド
 ALCAN INTERNATIONAL LIMITED
 カナダ、エイチ3エイ・3ジー2、ケベック、
 モントリオール、ウエスト、シャープ
 ルック・ストリート1188番
 (74) 代理人 100086405
 弁理士 河宮 治
 (74) 代理人 100091465
 弁理士 石井 久夫

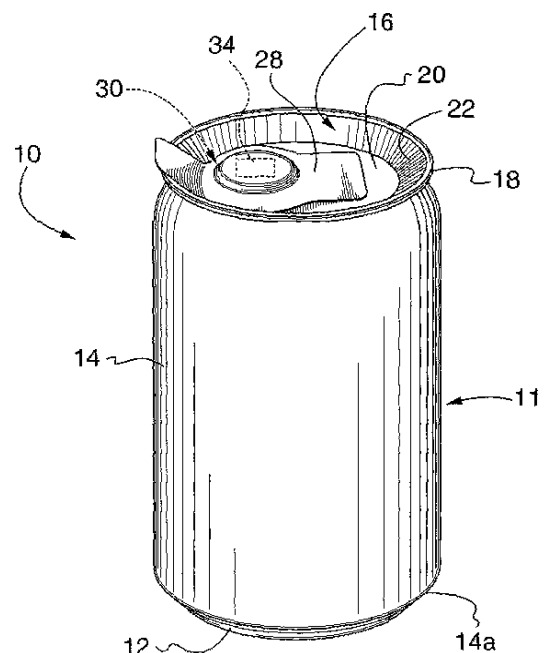
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 販売促進のためのコンテストを行う方法及びそれに用いられる飲料用容器

(57) 【要約】

販売促進用コンテストを実行する方法であって、

フィールド擾乱素子が存在することを検出するためにフィールドを発生させるポータルを準備する工程と、秘匿されたフィールド擾乱素子を有するパッケージ及び有さないパッケージを準備する工程と、上記パッケージを上記ポータル付近を通過させる様々な人に対して無作為にこのパッケージを配し、フィールド擾乱素子を有するパッケージにより上記ポータルがこのコンテストの勝者であることを示すシグナルを発する工程とを有する方法にある。飲料用缶若しくは同様の缶には、フィールド擾乱素子が秘匿された。このフィールド擾乱素子は、販売促進用コンテストにおいて使用される。この素子を、上記缶蓋部の飲み口をカバーする引き剥がし可能な閉じ部材上に載置してもよい。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィールド擾乱素子を備える飲料用容器であって、上記飲料用容器はポータルと共に使用され、上記ポータルは、電場若しくは磁場を発生させ、さらにフィールド擾乱素子が存在することを検出し、シグナルを発し、

さらに、上記飲料用容器は、

(a) 多量の飲料を保持するための缶と、

(b) 上記缶を上記フィールドの中に挿入した時、上記ポータルが、中に缶が存在することについてシグナルを発するように、上記缶に固定されたフィールド擾乱素子と、を有することを特徴とする飲料用容器。

10

【請求項 2】

上記フィールドが磁場であり、上記フィールド擾乱素子が、上記ポータルにより検出可能な磁気素子であることを特徴とする請求項 1 記載の飲料用容器。

【請求項 3】

上記フィールドが高周波電場であり、上記フィールド擾乱素子が、上記フィールド中に回路が存在することを上記ポータルにより検出しシグナルを発するような共鳴周波数を有する受動型電気回路であることを特徴とする請求項 1 記載の飲料用容器。

【請求項 4】

上記缶が壁部を有し、上記回路がその壁部上に配置されていることを特徴とする請求項 3 記載の飲料用容器。

20

【請求項 5】

上記回路が、上記缶に取り付けられた部材上に配置され、さらに当該部材により秘匿されることを特徴とする請求項 3 記載の飲料用容器。

【請求項 6】

上記缶が飲み口を備え、上記の缶に固定された部材が、飲み口のための、引き剥がし可能な薄片状閉じ部材であることを特徴とする請求項 5 記載の飲料用容器。

【請求項 7】

上記引き剥がし可能な閉じ部材が、接触していないタブ部材と飲み口被覆部材とを有することを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 8】

上記回路が、上記タブ部材上に配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の飲料用容器。

30

【請求項 9】

上記回路が、上記飲み口被覆部材上に配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の飲料用容器。

【請求項 10】

上記回路が、上記タブ部材及び上記飲み口被覆部材上に配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の飲料用容器。

【請求項 11】

上記回路が、上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材上に印刷されてなることを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

40

【請求項 12】

上記回路が、上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材に薄く重ね合わされた皮膜上に配置されていることを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 13】

上記回路が、上記ポータルにより検出可能である一方、上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材が、飲み口を閉じた部分において、上記缶に完全に固定されていることを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 14】

上記回路が、上記飲み口を十分開口するために、薄片状の閉じ部材を引き剥がした時の

50

み、上記ポータルにより検出可能であるように作動することを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 15】

ポータルと共に使用するための飲料用容器のアレイであって、上記ポータルは電場若しくは磁場を発生させ、中にフィールド擾乱素子が存在することを検出しシグナルを発し、上記飲料用容器のそれぞれは、多量の飲料を保持するための缶を有し、

第 1 の缶は、フィールド擾乱素子が取り付けられ、上記缶が上記フィールドに導入された時、上記ポータルが、その中に上記缶が存在することについてシグナルを発し、

第 2 の缶は、フィールド擾乱素子が取り付けられておらず、上記缶が上記フィールドに導入された時、上記ポータルが、その中に上記缶が存在することについてシグナルを発せず、

上記第 1 の缶と上記第 2 の缶とは、人間の感覚による外的な調査によって、互いに区別することができないことを特徴とする飲料用容器のアレイ。

【請求項 16】

多数の個人の中からコンテストの勝者を決定し、販売促進用コンテストを実行する方法であって、

(a) フィールドを発生させ、中にフィールド擾乱素子が存在することを検出し、さらに中にフィールド擾乱素子が存在することに対応するシグナルを発するように作動可能な少なくとも 1 つのポータルを準備する工程と、

(b) フィールド擾乱素子を有する少なくとも 1 つのパッケージ、及びフィールド擾乱素子を欠く少なくとも 1 つのパッケージであって、人間の感覚による外的な調査によって互いに区別することができないパッケージを含む複数のパッケージを準備する工程と、

(c) フィールド擾乱素子を有するパッケージを配ることが無作為であるように、様々な個人に対して上記複数のパッケージを配する工程と、

(d) 上記パッケージが配された個人が、上記パッケージを上記フィールドに導入する位置において、少なくとも 1 つのポータルを作動させる工程と、を含み、

フィールド擾乱素子を有するパッケージが個人により上記フィールドに導入された時、上記ポータルが上記個人がコンテストの勝者であることを示すシグナルを発することを特徴とする販売促進用コンテストを実行するための方法。

【請求項 17】

上記フィールドが磁場であり、上記フィールド擾乱素子が上記少なくとも 1 つのポータルにより検出可能である磁気素子であることを特徴とする請求項 16 記載の方法。

【請求項 18】

上記フィールドが高周波電磁場であり、上記フィールド擾乱素子が上記フィールドの中にマイクロ回路が存在することを上記ポータルにより検出されシグナルされるような共鳴周波数を有する受動型共鳴マイクロ回路であることを特徴とする請求項 16 記載の方法。

【請求項 19】

上記パッケージが飲料用容器であることを特徴とする請求項 16～18 のいずれかに記載の方法。

【請求項 20】

上記のフィールド擾乱素子を有する少なくとも 1 つのパッケージが飲料用容器であり、上記飲料用容器が

多量の飲料を保持するための缶と、

上記缶を上記フィールドに導入した時に上記ポータルにより上記缶が中に存在することについてシグナルを発するように上記缶に固定されているフィールド擾乱素子と、を備えることを特徴とする請求項 16～19 のいずれかに記載の方法。

【請求項 21】

上記フィールドが磁場であり、上記フィールド擾乱素子が上記ポータルにより検出可能な磁気素子であることを特徴とする請求項 20 に記載の方法。

【請求項 22】

10

20

30

40

50

上記フィールドが高周波電場であり、上記フィールド擾乱素子が、上記フィールドに回路が存在することを上記ポータルにより検出しシグナルを発するように共鳴周波数を有する受動型電気回路であることを特徴とする請求項 20 記載の方法。

【請求項 23】

上記缶が壁部を有し、上記回路がその上に配置されていることを特徴とする請求項 22 記載の方法。

【請求項 24】

上記回路が上記缶に固定された部材上に配置され、それにより秘匿されていることを特徴とする請求項 22 記載の方法。

【請求項 25】

上記缶が飲み口及び引き剥がし可能な薄片状閉じ部材を有し、上記閉じ部材が上記缶に固定された部材であることを特徴とする請求項 24 記載の方法。

【請求項 26】

上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材が、接触していないタブ部材及び飲み口被覆部材を備えることを特徴とする請求項 25 記載の方法。

【請求項 27】

上記回路が上記タブ部材上に配置されていることを特徴とする請求項 26 記載の方法。

【請求項 28】

上記回路が上記飲み口被覆部材上に配置されていることを特徴とする請求項 26 記載の方法。

【請求項 29】

上記回路が上記タブ部材及び上記飲み口被覆部材の両方の上に配置されていることを特徴とする請求項 26 記載の方法。

【請求項 30】

上記回路が上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材上に印刷されてなることを特徴とする請求項 25 記載の方法。

【請求項 31】

上記回路が上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材に薄く重ね合わされた皮膜上に配置されていることを特徴とする請求項 25 記載の方法。

【請求項 32】

上記回路が上記ポータルにより検出可能である一方、上記引き剥がし可能な閉じ部材が飲み口を閉じる位置において上記缶と完全に固定されていることを特徴とする請求項 25 記載の方法。

【請求項 33】

上記回路が、上記飲み口を十分開口し上記薄片状閉じ部材を引き剥がした時のみ上記ポータルにより検出可能であるように活性化されていることを特徴とする請求項 25 記載の方法。

【請求項 34】

上記回路が上記缶の外表面上に見えるように配置され、フィールド擾乱素子を欠くそれぞれの缶が上記缶の外的特性上に見えるように配置された回路刺激設計素子を有し、フィールド擾乱素子を有する缶とフィールド擾乱素子を欠く缶とが互いに区別することができないことを特徴とする請求項 22 記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

【0001】

(技術分野)

本発明は、販売促進のためのコンテストを行う方法、及びそのようなコンテストにおいて使用される飲料用容器若しくは類似の容器に関する。より詳細には、本発明は、勝者が、外見的には同様に見える商品の中に無作為に混合され、秘匿された証印 (indicia) により識別される商品 (例えば飲料用缶) の購入者若しくはその他の受取人である販売促進

10

20

30

40

50

用コンテストに関する。具体的には、本発明は、電気的商品監視システムを用いて、コンテストを実行するための方法、特に商品が飲料用容器若しくは同様の容器であることを特徴とする方法に関する。

【0002】

(背景技術)

現在、缶製造業者及び飲料製造業者 (filler) の間で、商品の販売、及びブランド認知を促進する缶の機能に関して強い関心がある。製品を販売促進するための既知の技術の中に、以下のようなコンテストがある。このコンテストにおいては、特定の、しかし外的には検出することができない、認識機能を有する1若しくは少数の「ウィニング」パッケージが、店頭若しくは他の自動販売機での販売のため並べられた製品の通常のパッケージの束の中で無作為に埋め込まれている (are randomly seeded)。コンテストによる宣伝は、ブランドに対して注意を引きつけ、これにより、商品と交換されるウィニングパッケージを得ることを望んで、(他のブランドより) 販売促進された製品ブランドのパッケージを消費者が購入するよう誘導することを目的としている。五感を対象とした、コンテストに関連する他の機能により、このコンテスト及び製品に対する興味が増大することが望ましい。

10

【0003】

これに関して言えば、聴覚は比較的僅かしか利用されてこなかった。ある消耗性缶製品のための販売促進は、ウィニング缶に内蔵された装置であって、缶の開口時に可聴式のメッセージを発することができ、それによりその缶がウィナーであることを消費者に通知する装置が利用されてきた。これらの缶は、通常の缶の一群の中に埋め込まれ、外観検査若しくは重量によりこれらの缶を区別することができない。しかし、音声発生素子を秘匿するために、缶を実質的に修正することが必要である。そして、缶の開口時に音声が入力される。これは、密に行われる。そのため、勝者である購入者に対して楽しい影響を与える一方、ウィニング缶が公然において開口されないならば、その場でその勝利を告知することができる可能性はない。後者の状況においても、缶の内部にフィットされた、できるだけ小さい装置により発せられる音量により、勝者のアナウンスが聞かれる範囲を制限することができる。

20

【0004】

電気商品監視システム (EAS) を小売店における窃盗等の安全目的のために用いることはよく知られている。このようなシステムは、ポータルを利用する。(ポータルは、一般的に店を去る消費者が通過する店の出口付近にある。) このポータルは、rf電磁場を発生させ、そのフィールドの擾乱を検出しシグナルを発する。受動型rf共鳴マイクロ回路の形態をしたフィールド擾乱素子 (field-disturbing element) を、保護される商品に固定する。マイクロ回路の共鳴周波数及びフィールドの周波数が適当に選択されると、これらのマイクロ回路の1つを有する製品が(障害のない状態で) ポータルのフィールドを通過することにより、そのフィールドが検出可能な程度に乱される。この擾乱を感知するポータルにより、店頭から商品を権限なく持ち去っていることを示す聴覚的及び/又は視覚的アラームシグナルを発生させる。アラームを作動させることなく、(例えば商品を購入する人が) 権限を得て商品を持ち去るために、購入の際店員によりその場で商品から回路を取り外し、若しくは機能を解除しても良い。rfフィールド及びマイクロ回路に対する別の実施の形態において、磁場及び磁場擾乱素子を使用してもよい。

30

40

【0005】

アメリカ特許No. 5,861,809、5,754,110、4,673,923、又は4,835,524等のいくつかの特許では、rfタグ、及びこれらに基づいた全EASアンチ窃盗システムの設計及び製造に関して記載されている。

【0006】

コスト、利便性及び実現可能性を考慮すると、飲料用缶及び同様の缶を含めた様々なタイプの安価な商品に対してEASシステムを使用することが除外される。例えば、飲料用容器は、自動販売機で、若しくは6パック等予めパッケージされたグループで一般的に売

50

られている。即ち、これらの売り方は、個々の缶に r f マイクロ回路を設け、検出し及び／又はその機能を無効にすることと矛盾する。

【0007】

(発明の開示)

第1の発明は、概して、数多くの人の中からコンテストの勝者を決定するための、販売促進用コンテストを行う方法を提供することを目的とする。この方法は、フィールドを発生させ、その中にフィールド擾乱素子が存在することを検出することができ、それに対応するシグナルを発するように作動可能な少なくとも1つのポータルを準備する工程と、

フィールド擾乱素子を有するパッケージ及び有さないパッケージであって、外からの人間の感覚で調べることによって互いに区別することができないパッケージをそれぞれ少なくとも1つ含む複数のパッケージを提供する工程と、

フィールド擾乱素子を有するパッケージの配置がランダムとなるように、異なる人に対して上述の複数のパッケージを配る工程と、

パッケージを配られた人が、フィールドに対してそのパッケージを導入する場所において、ポータルを作動させる工程と、を有し、

フィールド擾乱素子を有するパッケージが、その人によってそのフィールド中に導入された時、このポータルが、その人がコンテストの勝者であることを示すシグナルを発することを特徴とする。

【0008】

この方法は、ポータル及び(フィールド擾乱素子としての) 上述のマイクロ回路を備える一般的に従来からあるEASシステムを利用しても良いが、窃盗を実行することを検出するために、フィールド擾乱素子を、保護される全ての製品に取り付けて使用するのではなく、「ウィニング」パッケージにだけマイクロ回路若しくは他のフィールド擾乱素子が取り付けられ、「ウィニング」パッケージを認識するために使用する。一般的に、この方法のプラクティスにおいて、フィールド擾乱素子は、一若しくは少数のパッケージにだけ設けられ、これらのパッケージはフィールド擾乱素子を有さない多くの通常のパッケージに混ざり合っているか、若しくは埋め込まれている。

【0009】

このフィールドは、磁場であっても良く、フィールド擾乱素子は、上述の1つのポータルにより検出可能な磁石素子であっても良い。別の実施の形態では、フィールドは高周波電磁場であっても良く、フィールド擾乱素子は受動型の共鳴マイクロ回路(以下時々単純に回路と称することがある)であっても良い。この回路は、共鳴周波数を有し、上述の1つのポータルにより、即ち従来のEASシステムにおいて、フィールド内に回路が存在することを検出しシグナルを発する。

【0010】

さらに、本発明によれば、このパッケージは、飲料用容器、特に缶の壁部上に回路が配置され、多量の飲料を保持するための缶を含むタイプの容器であってもよい。少なくとも多くの場合において、回路は缶に配置された部材上に配置され、そして秘匿されている。缶が飲み口と、それに対する引き剥がし可能な閉じ部材とを有する、本発明の好ましい実施の形態では、この閉じ部材は回路秘匿部材としての役割を果たす。この閉じ部材は、非接触タブ部分及び飲み口被覆部分を備えていても良く、回路をこのタブ部分、若しくは飲み口被覆部分若しくはその両方に配置しても良い。回路をホイル状閉じ部材上にプリントしても良いし、若しくはホイル状閉じ部材に薄く重ねられた膜上に配置しても良い。

【0011】

一般的に若しくは好ましくは、回路はポータルにより検出可能であり、一方引き剥がし可能な薄片状閉じ部材は、飲み口閉じ部材の位置にて缶に完全に固定されている。しかしながら、別の実施の形態では、ホイル状閉じ部材を引き剥がし飲み口を十分開口した時のみ、回路を活性化しポータルにより検出可能となるようにしても良い。

【0012】

他の実施の形態では、回路を缶の外表面に見えるように配置し、フィールド擾乱素子を

欠くそれぞれの缶は、回路を模した素子を有し、この回路を模した素子は、缶の外的特徴部に見えるように配置されている。そして、フィールド擾乱素子を有する缶及び有さない缶は、互いに区別することができない。

【0013】

また、第2発明は、電場若しくは磁場を発生させ、フィールド擾乱素子が中に存在することを検出しシグナルを発するポータルと共に使用する飲料用容器であって、多量の飲料を保持するための缶と、缶がフィールドに運ばれたときに、ポータルが缶がその中にあることを示すシグナルを発するように缶に固定されたフィールド擾乱素子と、を備える飲料用容器を提供することを目的とする。この第2の発明は、上述の様々な特性を有する缶を含む。

10

【0014】

別の発明では、電場若しくは磁場を発生させ、フィールド擾乱素子が中に存在することを検出しシグナルを発するポータルと共に使用する飲料用容器のレイアウトであって、飲料用容器のそれぞれは、多量の飲料を保持するための缶を有し、第1の缶には、フィールド擾乱素子を取り付けられており、缶がフィールドの中に導入された時にポータルがその中に缶が存在することを示すシグナルを発し、また第2の缶には、フィールド擾乱素子を取り付けられておらず、缶がフィールドの中に導入された時に、ポータルがその中に缶が存在することを示すシグナルを発せず、さらに第1の缶及び第2の缶は、人間の感覚によって外から調査しても互いに区別することができないことを特徴とする飲料用容器のレイアウトを提供することを目的とする。

20

【0015】

本発明のさらなる特性及び利点は、添付の図面と共に以下に説明した詳細な説明から明らかになるだろう。

【0016】

(発明を実施するための最良の形態)

同時係属中のアメリカ特許出願番号10/150,683(2002年5月17日出願)に記載したタイプの飲料用缶の提供及び使用を参照して本発明を説明するが、これは例示するためのものである。ここで、上記出願の全開示内容を本明細書において引用して援用する。

【0017】

図面を参照しながら、このタイプの容器を金属缶10により例示する(図1)。金属缶10は、ソーダやビールのような炭酸飲料を保持するためのものである。この缶10は、一続きの缶容体11を含み、この缶容体11は底部12と、連続して垂直にかつ軸方向に延在する略円柱状の缶の側壁14と、蓋部16とを備える。この蓋部16は、缶が飲料で満たされた後、缶容体の開口上端部の周縁に接するように固定され完全な液密容器を提供する。

30

【0018】

この容体11は、全体として従来型の圧延されたアルミ合金の缶容体であっても良く、この容体は構造、合金成分、製造方法、配置、容積、大きさ及び表面コーティングにおいて、炭酸飲料や他の飲料に現在商業的に使用されている缶容体と同一である(別の形態として、例えば、この容体は、欧州で一般的に使用されているようなスチール製の缶容体であっても良い)。特に、既知の缶容体と共通しているが、容体11の底部12は、外側から見て凹んでおり、この容体の開口上端部は円形のエッジ18を有し、このエッジ18は側壁14の鉛直の幾何学的軸に対して垂直な平面上にある。本明細書において、「アルミニウム」及び「アルミニウム合金」なる用語は同義的に使用され、アルミニウム金属及びアルミニウムベース合金を指す。

40

【0019】

後で述べる場合を除いて、蓋部16は、概して従来型のアルミニウム合金蓋部であり、この蓋部は、引き延ばされ圧延された一体型の缶容体を有する飲料用缶(容体11等)に現在商業的に使用されているタイプである。そのため、缶を構成する合金、工程及びその

50

製造方法に使用される手順、略全体の構成、大きさ、容積、表面コーティング、並びに缶容体 11 の上端部 18 に固定する方法は、現在この技術分野でよく知られた缶蓋部とすべて同様である。

【0020】

特に、この蓋部 16 は、実質的に固定され、円形の外周を有する実質的に平坦な上面 20 を有し、平坦な上面 20 の平面より上方に突出した、傾斜した環状縁部 22 が、上記円形の外周の周りに形成されている。蓋部が、既知の方法で、飲料で満たされた缶容体の開口上端部に載置されたとき、縁部 22 は、缶容体の上部エッジ 18 に嵌着する。実質的に、円形の平面 20 は、円柱状の側壁 14 が有する鉛直の幾何学的軸に対して垂直な水平面上にある。缶 10 の側壁 14 の下部 14a は、缶が垂直に積層された場合に、他の同形の缶の蓋部の縁部と相互に嵌着するように成形されている（テーパー状に形成される）。 10

【0021】

蓋部 16 が配置され、そして飲み口が設けられている。缶に含まれる飲料はこの飲み口を介して注がれるか、又は、飲み口から挿入されるストローを用いて、若しくはこの飲み口に対して消費者の口を揃えて缶から直接飲むことにより取り除かれる。特に、この蓋部は予め形成された開口飲み口 24 と、引き剥がし可能で柔軟性のある閉じ部材とを有する。この閉じ部材は飲み口を覆っている。閉じ部材を引き裂くのに過剰な力を必要とすることなく、（含まれる炭酸飲料により引き起こされる内圧に対して）十分な耐爆発性を得るため、浅い円錐台の円形フランジ 30 を蓋部の平坦な上面 20 の領域に形成し、飲み口 24 を囲み、この飲み口 24 の領域を規定し、この閉じ部材に対してシートを設ける。 20

【0022】

柔軟な閉じ部材 28 は、例えばアルミホイルのような金属ホイルを含むシート材料により構成されている。本発明の記載された実施形態では、この閉じ部材は、適切に樹脂が塗られたアルミホイルシート若しくはアルミホイルポリマーのラミレートシートにより作製されている。全般的に説明すると、閉じ部材に使用される材料は、限定されるわけではなく、樹脂が塗られたホイル（この樹脂は適切な熱シールが形成されている）と、押出コートされたホイル（ポリマーが標準的な押出コートプロセス若しくは他の押出コートプロセスにより塗布される）と、吸着性の連結層を用いてホイルがポリマーフィルムに対して薄く積層された上述のホイルーポリマーのラミレートと、低価格のパッケージングに応用するために使用されてきたホイルー紙ー樹脂のコンビネーションとが含まれる。 30

【0023】

この閉じ部材は、飲み口 24 の上の全体に亘って延びており、ヒートシールによりフランジ状の外表面 32 に固定されている。このヒートシールは、少なくとも、飲み口を全体的に囲む環状の領域に亘って存在している。それによって、閉じ部材は、蓋部 16 を、炭酸飲料により満たされた缶容体 11 に固定する前にフランジ 30 に取り付けられる。この閉じ部材は、飲み口 24 をカバーし閉じている。蓋部が容体に搭載され、飲料の密閉が完全なものとされると、飲料により引き起こされる上昇された圧力は、閉じ部材 28 の内表面に対して作用し柔軟な閉じ部材を外側に膨張させる。閉じ部材 28 の内表面は、飲み口を介して缶の内部に対して曝されている。

【0024】

図 2～4 は、図 1 の実施形態に係る缶の上部におけるフランジ、飲み口及び閉じ部材の別の構成及び配置を示している。円形の缶の蓋部 16 は、48 mm の直径を有し、それに対応する大きさの円状開口上端部を有する缶容体上に載置可能であり、直径 20 mm の直径を有する円形の飲み口 24 は、円錐台の環状のフランジ 30 により領域が規定される。このフランジ 30 は、（蓋部表面 20 の平面において）最大直径 30 mm を有する。図 4 において最も良く理解できるように、薄片状ポリマーのラミレート閉じ部材 28 は、直径が 32 mm の円状中央部分を有する。（これは、フランジの緩やかな外表面を完全に覆うほど十分に広い。）ここで、この円状中央部分は、蓋部の平坦な上面の一部を被覆するため、一方に短い突起部 28a を有し、またもう一方のサイドに積層用のタブ部材分 28b を有する。このもう一方のサイドは、フランジ 30 の外側に、ヒートシールされておらず 40 50

、自由に曲げること及び引っ張ることができる。概略的な分解正面図である図3は、缶の蓋部16及び閉じ部材28の相対的なポジション並びにタブの曲がり具合を示している。閉じ部材は予備的な形成工程に供され、フランジ30上に適切に載置しこれを密閉できるように、その円状中央部分が円錐台の形状とされる（図3に示されている）。

【0025】

缶の蓋部16の幾何学的に中央に対して偏在する飲み口24が図2に示されている。即ち、缶から直接、充填された飲料を飲むためユーザが容易に飲み口を口に持って行けるように、蓋部のエッジの比較的近くに配置されている。しかし、使い方及び内容物に従って、飲み口を異なる位置としても良い。また、もし望まれるのであれば、飲み口の形状を、示される円形以外の形状としても良い。

10

【0026】

例示ではあるが、ホイル状の閉じ部材の原料は、（例えば、合金AA3104若しくはAA3003、8011、8111、1100又は1200等の従来型のホイル合金からなり）ホイルの厚さが0.002"－0.004"（50 μ ～100 μ ）である適切なアルミホイルであって、適切な熱シールをすることができる樹脂を一方のサイドに塗布されるか、0.001"－0.002"（25 μ ～50 μ ）の適切な熱シール可能なポリマーフィルム（例えば、ポリエチレン、ポリプロピレン等）が一方のサイド上に薄く重ね合わされたアルミホイルであっても良い。（外面的に曝された）他のサイドは、適切な保護用樹脂コーティングを有するべきである。

【0027】

飲み口に対してシールするため、記載された積層用プルタブを有する閉じ部材28を形成し、適切なプレスを使用して薄片状ラミレート原料を押しつける（特にこれらの閉じ部材のために設計された道具とともに標準的なプレスを使用しても良い）。円錐台形状のフランジが予め形成されている実施の形態では、この薄片状閉じ部材は、蓋部の隆起した飲み口にフィットするように（圧延プロセスにより）予め形成される。

20

【0028】

適切な道具と共にヒートシール機械を使用して、缶の蓋部に閉じ部材をヒートシールする。このヒートシールの条件は、使用されるポリマー及びヒートシールコーティング処理に依存する。蓋部の内部上のコーティングが、ヒートシールオペレーションの間柔らかくなるか若しくは溶融しないように、底部のヒートシールツールの温度を選択すべきである。一般的に使用される缶端部のコーティングのため、さらにヒートシールの滞留時間が約0.3秒以下であるため、この温度は約220℃以下、好ましくは約200℃以下とすべきである。上部のツールの温度は、ヒートシールのボンドが、できるだけ短い時間に達成されるように設定されている。一般的な商業的なヒートシールマシンは、0.3秒の滞留時間を有する。滞留時間、圧力及び温度は、特定のヒートシールの塗布に対して最適化しても良い。蓋部に対して閉じ部材をヒートシールすることには、カスタマイズされたヒートシールライン（スイス、ステフィスバークのHans Rychiger AGにより作製されたもの等）を使用することが含まれる。このラインは、適切に組み立てられたヒートシール装置が設けられ、角度の付いた飲み口に対して閉じ部材が接着される。

30

【0029】

本発明によれば、ここに記載された実施の形態の特定の特徴として、図1～4の缶には、rf共鳴マイクロ回路が設けられている。このrf共鳴マイクロ回路は、一般的若しくは例示的に、現在のEASシステムにおいて用いられるような従来型の回路であって、回路を有する缶がポータルのフィールドを通過するとき、聴覚的及び／又は視覚的アラーム若しくはシグナルを発するようにポータルのrfフィールドを乱すことが可能である。

40

【0030】

Rf共鳴マイクロ回路は、小売店において盗みを思いとどまらせるために現在幅広く使用されている。一般的には、回路を製造業者により製品である商品に取り付ける。この回路は共鳴回路であり、この共鳴回路によりrfフィールドからエネルギーを吸収し、フィールドにおける変化が、ポータル内の検出器により検出できる程度にそのフィールドに乱

50

れを生じさせる。このポータルは続いてアラームを発する。回路を設計することにより、この回路は、所定の店で使用される特定の周波数に対して調整され、誤ったシグナルにより突発的にトリガーが掛かる可能性を防止する。いくつかの回路は、2次rf周波数に対して感度を有し、それらの回路が共鳴しているときに、十分大きなac電流がこの回路内を流れ、狭く薄いコンダクター素子を溶解(fuse)する。それにより、回路を壊し不活性化して、最初の購入後アラームが鳴ることなく消費者が店を出るか再び入店することができる。

【0031】

このタイプのRf共鳴マイクロ回路は、薄いアルミホイルをポリマー裏材に薄く重ね合わせ、所望の回路をフォトレジストを用いて上記ホイル上に印刷し、回路素子の外側の領域においてアルミニウムをスプレーエッチングで除去し、そしてフォトレジストを取り除くことにより作製される。完全なタグは、2つの回路からなる。この2つの回路は、介在ポリマー層と共に接着されている。この介在ポリマー層は、回路のキャパシタ部の誘電体として、及び2つの回路内の伝導性素子間の絶縁層として作用する。エッチングされたラミレートは、膜の幅に亘って同時に作製される多くの回路を用いたコイルトゥーコイルオペレーションにおける、連続した膜形成プロセスにより製造されている。その後、個々の回路は分割され、ポリマーフィルム若しくはペーパー上に薄く貼り合わされ、ラベル若しくはタグが形成される。この2つの回路は、ホイル／ポリマー／ホイルのラミレートで始まる同じポリマー支持フィルムのそれぞれのサイドに作製してもよい。即ち、このケースにおいて、例えば介在ポリマー層を介して、超音波溶接により、2つの回路が特定のポイントにおいて電氣的に接合される。2つの回路は、ホイル／ポリマーのラミレート（不図示）の同じサイド上の近接する領域において製造し、その後、介在ポリマーフィルム（不図示）と共に折り曲げられ、上記フィルムを挟んでも良い。図5A及び5Bは、そのように折り曲げられたデザイン、及び対応するLC共鳴回路をそれぞれ示している。図6A及び6Bは、レジストリにおける他の上面上に配置された2つの回路部、及びこれに対応するLC回路をそれぞれ示している。即ち、これらの素子は、介在誘電層と共に接着され／折り曲げられる。介在誘電層を有する組み立てられた回路は、ときどきrfタグと称される。図7は、現在商業用EASシステムにおいて使用され、本発明において使用されるタイプの実際のrfタグを例示している。

【0032】

図5～7において示されたタイプの一般的なrfタグは、6μmホイルを備えていても良い。この6μm薄片状は、25μmポリエチレンに対して薄く重ね合わされており、さらに50μm薄片状に対して薄く重ね合わされている。Rfタグは、約2平方cmであり、5～10MHzの周波数範囲において応答する。これらのrfタグのデザイン、設計、製造及び機能の詳細は、例えば上述の一以上のアメリカ特許番号5,861,809、5,754,110、4,673,923及び4,835,524に記載されている。

【0033】

第1発明において、選択された缶上のホイル状ラベルが、埋込型マイクロ回路を備え、このマイクロ回路により、店、自動販売機、スポーツイベント等において、ポータルにトリガーが掛かり、コンテストの勝者を公表する販売促進コンテストの方法及びシステムを提供することを目的とする。この回路は、店の電氣的アンチ窃盗システムの一部として通常製品タグに使用される装置と同様であっても良い。つまり、本発明において、販売促進のための缶に使用される。この回路を、「ウィニング」缶が他のものと区別することができないように、上述のように設計された引き剥がし可能な蓋部を有する缶10の薄片状シール（閉じ部材28）に埋め込まれていることが好ましい。別の実施の形態では、この回路は、缶が薄片状シール部を引き剥がすことにより開口するまで不活性な状態にある。

【0034】

rf共鳴回路が薄片状シール部若しくは閉じ部材28に配置する方法はたくさんある。例えば、図4の32で示されるように、このrf共鳴回路をタブ部材28bだけに適合させて良い。別の実施の形態では、図4の34に示すように、飲み口をカバーする閉じ部材

10

20

30

40

50

の一部にフィットさせても良い。若しくは、閉じ部材の全体領域に組み込んでも良い。これらの配置のそれぞれにおいて、回路を閉じ部材の薄片状上に直接印刷しても良いし、若しくは他の膜材料により予め作製し取り付けても良い。この材料は、閉じ部材の薄片状と共にラミレートを形成している。

【0035】

また別の実施の形態では、回路を単純に缶若しくは蓋部の側面に直接印刷しても良い。しかし、この場合、作動回路を有する「ウィニング」缶を、他の缶から区別可能とするために、一以上の「ウィナー」が埋め込まれた列の中の全ての缶に回路を設けなければならない。この回路のいくつかは、ポータルのrfフィールドを乱すことができないダミーである。

10

【0036】

第2発明においては、高周波共鳴回路等の受動型アンテナ回路を備える薄いアルミ薄片状のラベル若しくは引き剥がし可能部材を組み込んだ缶を提供することを目的とする。そのようなラベル若しくは部材を有する缶が、検出ポータルを通過した時、回路により聴覚若しくは視覚的レスポンスをトリガーする。この聴覚的若しくは視覚的レスポンスは当選者を公表するために使用される。このポータルは、食料雑貨店におけるチェックアウト位置であっても良く、スタジアム、トレードショーなどでの自動販売機のデリバリーシュート若しくは通路の備品であっても良い。薄片状の回路を缶の側壁、蓋部、ドーム状部に固定し適当にカモフラージュしても良い。さらに、上述のように、回路を薄片状ベースの閉じ部材若しくは引き剥がし可能な蓋部に組み込むことが好ましく、この薄片状ベースの閉じ部材若しくは引き剥がし可能な蓋部においては、活性化の前に検出することができない。ある実施の形態では、薄片状を引き剥がすことにより蓋部を開口するまで、回路は不活性の状態にある。

20

【0037】

本発明は、入手可能なrfタグ及びポータルを備える検出システムを使用しても良い。磁場を感知するタグは入手可能であり、金属構造体によりrfフィールドのシールドが問題を引き起こすような状況においてこのタグを使用しても良い。これらは、同様に操作され、本発明の技術的範囲内に含まれている。

【0038】

本発明に係る缶は、非常に薄い受動型ラベルを有し、このラベルによりポータルに含まれる聴覚システムを活性化させる。当選者の公表は、予め設定された範囲に亘って、適切な音量を用いて、公衆の面前で行われる。ポータルがある所だけ効果が現れる。そしてそれによりウィニング缶のための開催地が幾分限定され、前もって選択される。これは、コンテストの公平性の認識に影響を与えるかもしれない。販売促進が、スポーツイベント若しくはコンサート等の特定のイベントを対象とするならば、両方の制限を取り除くことができる。

30

【0039】

ウィニング缶を区別することができないように全ての缶に取り付けられ、同じように見えるけれども、回路を備えていない薄いホイル状ラベルを缶の外側に組み込んでもよい。少数のウィニング回路を、普通に見える製品の中に埋め込むために、すでにホイルラベルが容器の構造の一部である配置であることが好ましい。これは、引き剥がし可能な閉じ部材若しくは引き剥がし可能なホイル状蓋部を備える容体に適用することができる。

40

【0040】

引き剥がし可能なホイル状部材若しくは蓋部を有する特定の実施の形態では、rf励起に対してフューズし、回路を不活性化するように通常設計された、回路内の狭い伝導素子を、蓋部を引き剥がし事前に不活性な回路を活性化させることにより破壊する。このように、この缶は開口後のみ活性化することができる。これにより、購買の時点と活性化の時点との間に所望の時間ディレイを得ることができる。

【0041】

公衆の面前で活性化されるウィニングラベルを有する製品のコンセプトは、様々な小売

50

りの形態に応用することができる。ホイルベースの蓋部若しくは引き剥がし可能な閉じ部材の観点から理解することにより、ホイル状蓋部若しくはそのような部材を組み込んだすべてのパッケージ商品に応用できる。

【0042】

本発明は、上述のように具体的に説明した特定の特性及び実施の形態を制限するものではなく、この技術的範囲から離れない他の方法により実行されうることを理解すべきである。

【図面の簡単な説明】

【0043】

【図1】図1は、本発明のある実施の形態を具体化した缶の斜視図である。

10

【図2】図2は、図1の缶の簡略及び概略上面図である。

【図3】図3は、図1の缶蓋部及び閉じ部材の概略分解正面図である。

【図4】図4は、図1の閉じ部材の平面図である。

【図5A】図5Aは、本発明の実施の形態におけるフィールド擾乱素子として使用される折り曲げられたrf共鳴回路を示した図面である。

【図5B】図5Bは、図5Aの回路に対応するLC共鳴回路の図である。

【図6A】図6Aは、本発明の実施の形態のフィールド擾乱素子として使用されるrf共鳴回路であって、2つの回路素子が重ね合わされたrf共鳴回路を示した図面である。この回路は、介在する誘電層（不図示）と接着されるか、若しくは折り曲げられ、他方の上面の適切な位置に配置されている。

20

【図6B】図6Bは、図6Aの回路に対応するLC共鳴回路の図である。

【図7】図7は、現在のEASシステムに使用されているような一般的に商業的に入手可能なrf共鳴マイクロ回路の平面図である。

【図1】

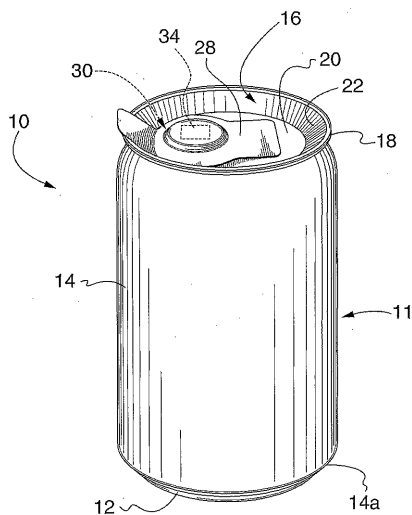


FIG. 1

【図2】

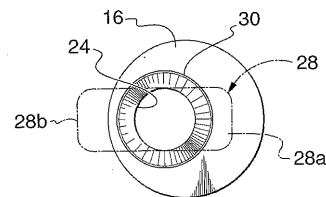


FIG. 2

【図3】

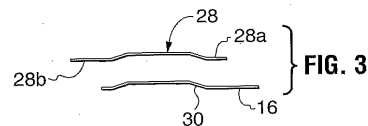


FIG. 3

【図4】

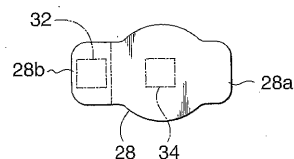


FIG. 4

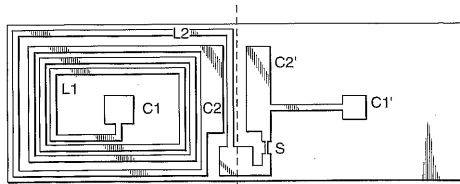


FIG. 5A

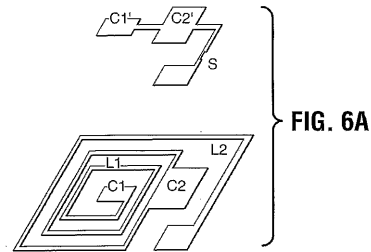


FIG. 6A

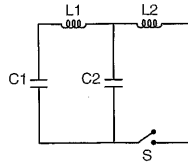


FIG. 5B

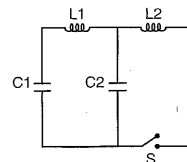


FIG. 6B

【図 7】

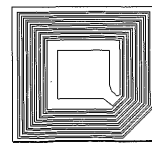


FIG. 7

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月22日(2004.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フィールド擾乱素子を備える飲料用容器であって、上記飲料用容器はポータルと共に使用され、上記ポータルは、電場若しくは磁場を発生させ、さらにフィールド擾乱素子が存在することを検出し、シグナルを発し、

さらに、上記飲料用容器は、

(a) 多量の飲料を保持するための缶と、

(b) 上記缶を上記フィールドの中に挿入した時、上記ポータルが、中に缶が存在することについてシグナルを発するように、上記缶に固定されたフィールド擾乱素子と、を有し、

さらに、上記容器が、人間の感覚による外的な調査により、上記フィールド擾乱素子が設けられていない同様の容器と区別することができないことを特徴とする飲料用容器。

【請求項2】

上記フィールドが磁場であり、上記フィールド擾乱素子が、上記ポータルにより検出可能な磁気素子であることを特徴とする請求項1記載の飲料用容器。

【請求項3】

上記フィールドが高周波電場であり、上記フィールド擾乱素子が、上記フィールド中に回路が存在することを上記ポータルにより検出しシグナルを発するような共鳴周波数をも

する受動型電気回路であることを特徴とする請求項 1 記載の飲料用容器。

【請求項 4】

上記缶が壁部を有し、上記回路がその壁部上に配置されていることを特徴とする請求項 3 記載の飲料用容器。

【請求項 5】

上記回路が、上記缶に取り付けられた部材上に配置され、さらに当該部材により秘匿されることを特徴とする請求項 3 記載の飲料用容器。

【請求項 6】

上記缶が飲み口を備え、上記の缶に固定された部材が、飲み口のための、引き剥がし可能な薄片状閉じ部材であることを特徴とする請求項 5 記載の飲料用容器。

【請求項 7】

上記引き剥がし可能な閉じ部材が、接触していないタブ部材と飲み口被覆部材とを有することを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 8】

上記回路が、上記タブ部材上に配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の飲料用容器。

【請求項 9】

上記回路が、上記飲み口被覆部材上に配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の飲料用容器。

【請求項 10】

上記回路が、上記タブ部材及び上記飲み口被覆部材上に配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の飲料用容器。

【請求項 11】

上記回路が、上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材上に印刷されてなることを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 12】

上記回路が、上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材に薄く重ね合わされた皮膜上に配置されていることを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 13】

上記回路が、上記ポータルにより検出可能である一方、上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材が、飲み口を閉じた部分において、上記缶に完全に固定されていることを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 14】

上記回路が、上記飲み口を十分開口するために、薄片状の閉じ部材を引き剥がした時のみ、上記ポータルにより検出可能であるように作動することを特徴とする請求項 6 記載の飲料用容器。

【請求項 15】

ポータルと共に使用するための飲料用容器のアレイであって、上記ポータルは電場若しくは磁場を発生させ、中にフィールド擾乱素子が存在することを検出しシグナルを発し、
上記飲料用容器のそれぞれは、多量の飲料を保持するための缶を有し、

第 1 の缶は、フィールド擾乱素子に取り付けられ、上記缶が上記フィールドに導入された時、上記ポータルが、その中に上記缶が存在することについてシグナルを発し、

第 2 の缶は、フィールド擾乱素子に取り付けられておらず、上記缶が上記フィールドに導入された時、上記ポータルが、その中に上記缶が存在することについてシグナルを発せず、

上記第 1 の缶と上記第 2 の缶とは、人間の感覚による外的な調査によって、互いに区別することができないことを特徴とする飲料用容器のアレイ。

【請求項 16】

多数の個人の中からコンテストの勝者を決定し、販売促進用コンテストを実行する方法であって、

(a) フィールドを発生させ、中にフィールド擾乱素子が存在することを検出し、さらに中にフィールド擾乱素子が存在することに対応するシグナルを発するように作動可能な少なくとも1つのポータルを準備する工程と、

(b) フィールド擾乱素子を有する少なくとも1つのパッケージ、及びフィールド擾乱素子を欠く少なくとも1つのパッケージであって、人間の感覚による外的な調査によっては互いに区別することができないパッケージを含む複数のパッケージを準備する工程と、

(c) フィールド擾乱素子を有するパッケージを配ることが無作為であるように、様々な個人に対して上記複数のパッケージを配する工程と、

(d) 上記パッケージが配された個人が、上記パッケージを上記フィールドに導入する位置において、少なくとも1つのポータルを作動させる工程と、を含み、

フィールド擾乱素子を有するパッケージが個人により上記フィールドに導入された時、上記ポータルが上記個人がコンテストの勝者であることを示すシグナルを発することを特徴とする販売促進用コンテストを実行するための方法。

【請求項17】

上記フィールドが磁場であり、上記フィールド擾乱素子が上記少なくとも1つのポータルにより検出可能である磁気素子であることを特徴とする請求項16記載の方法。

【請求項18】

上記フィールドが高周波電磁場であり、上記フィールド擾乱素子が上記フィールドの中にマイクロ回路が存在することを上記ポータルにより検出されシグナルされるような共鳴周波数を有する受動型共鳴マイクロ回路であることを特徴とする請求項16記載の方法。

【請求項19】

上記パッケージが飲料用容器であることを特徴とする請求項16～18のいずれかに記載の方法。

【請求項20】

上記のフィールド擾乱素子を有する少なくとも1つのパッケージが飲料用容器であり、上記飲料用容器が多量の飲料を保持するための缶と、

上記缶を上記フィールドに導入した時に上記ポータルにより上記缶が中に存在することについてシグナルを発するように上記缶に固定されているフィールド擾乱素子と、を備えることを特徴とする請求項16～19のいずれかに記載の方法。

【請求項21】

上記フィールドが磁場であり、上記フィールド擾乱素子が上記ポータルにより検出可能な磁気素子であることを特徴とする請求項20に記載の方法。

【請求項22】

上記フィールドが高周波電場であり、上記フィールド擾乱素子が、上記フィールドに回路が存在することを上記ポータルにより検出しシグナルを発するように共鳴周波数を有する受動型電気回路であることを特徴とする請求項20記載の方法。

【請求項23】

上記缶が壁部を有し、上記回路がその上に配置されていることを特徴とする請求項22記載の方法。

【請求項24】

上記回路が上記缶に固定された部材上に配置され、それにより秘匿されていることを特徴とする請求項22記載の方法。

【請求項25】

上記缶が飲み口及び引き剥がし可能な薄片状閉じ部材を有し、上記閉じ部材が上記缶に固定された部材であることを特徴とする請求項24記載の方法。

【請求項26】

上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材が、接触していないタブ部材及び飲み口被覆部材を備えることを特徴とする請求項25記載の方法。

【請求項27】

上記回路が上記タブ部材上に配置されていることを特徴とする請求項 2 6 記載の方法。

【請求項 2 8】

上記回路が上記飲み口被覆部材上に配置されていることを特徴とする請求項 2 6 記載の方法。

【請求項 2 9】

上記回路が上記タブ部材及び上記飲み口被覆部材の両方の上に配置されていることを特徴とする請求項 2 6 記載の方法。

【請求項 3 0】

上記回路が上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材上に印刷されてなることを特徴とする請求項 2 5 記載の方法。

【請求項 3 1】

上記回路が上記引き剥がし可能な薄片状閉じ部材に薄く重ね合わされた皮膜上に配置されていることを特徴とする請求項 2 5 記載の方法。

【請求項 3 2】

上記回路が上記ポータルにより検出可能である一方、上記引き剥がし可能な閉じ部材が飲み口を閉じる位置において上記缶と完全に固定されていることを特徴とする請求項 2 5 記載の方法。

【請求項 3 3】

上記回路が、上記飲み口を十分開口し上記薄片状閉じ部材を引き剥がした時のみ上記ポータルにより検出可能であるように活性化されていることを特徴とする請求項 2 5 記載の方法。

【請求項 3 4】

上記回路が上記缶の外表面上に見えるように配置され、フィールド擾乱素子を欠くそれぞれの缶が上記缶の外的特性上に見えるように配置された回路刺激設計素子を有し、フィールド擾乱素子を有する缶とフィールド擾乱素子を欠く缶とが互いに区別することができないことを特徴とする請求項 2 2 記載の方法。

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.
PCT/CA 03/01485

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC 7 G08B13/24 B65D17/16		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 7 B65D G06K G08B		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 5 947 256 A (PATTERSON HUBERT A) 7 September 1999 (1999-09-07)	1,3-5
Y	column 3, line 6 - column 6, line 57; figures	2,15-23, 34
Y	US 2002/130778 A1 (NICHOLSON MARK R) 19 September 2002 (2002-09-19) paragraph '0048! - paragraph '0055!; figures	2
Y	DE 201 15 621 U (WANFRIED-DRUCK KALDEN GMBH) 29 August 2002 (2002-08-29) page 11, line 1 - page 12, line 24; figures 2,2a,2b	15-23,34
X	EP 1 083 519 A (SUPERSENSOR PROPRIETARY LTD) 14 March 2001 (2001-03-14) paragraph '0042!; figure 8	1
-/-		
☒ Further documents are listed in the continuation of box C. ☒ Patent family members are listed in annex.		
* Special categories of cited documents : *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance *E* earlier document but published on or after the international filing date *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art. *Z* document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search		Date of mailing of the international search report
29 July 2004		05/08/2004
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5618 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer
		Olsson, B

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.
PCT/CA 03/01485

C.(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	EP 0 794 520 A (CHECKPOINT SYSTEMS INC) 10 September 1997 (1997-09-10) cited in the application column 4, line 8 - column 10, line 26; figures -----	1-34
A	US 4 673 923 A (BOSCOE JOHN J ET AL) 16 June 1987 (1987-06-16) cited in the application column 3, line 13 - column 4, line 57; figures -----	1-34

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

information on patent family members

International Application No
PCT/CA 03/01485

Patent document cited in search report		Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5947256	A	07-09-1999	AU 734481 B2	14-06-2001
			AU 5807798 A	07-08-1998
			BR 9714529 A	02-05-2000
			CA 2274085 A1	23-07-1998
			EP 1008117 A1	14-06-2000
			JP 2001512592 T	21-08-2001
			WO 9832104 A1	23-07-1998
US 2002130778	A1	19-09-2002	US 2002041233 A1	11-04-2002
			US 2004046663 A1	11-03-2004
			US 2002021208 A1	21-02-2002
			CA 2452282 A1	26-09-2002
			EP 1377945 A1	07-01-2004
			WO 02075684 A1	26-09-2002
			US 6517561 B1	11-02-2003
			AU 8321601 A	25-02-2002
			CA 2419088 A1	21-02-2002
			EP 1323144 A1	02-07-2003
			JP 2004511033 T	08-04-2004
			WO 0215139 A1	21-02-2002
			AU 8476801 A	25-02-2002
			CA 2419116 A1	21-02-2002
			EP 1325480 A2	09-07-2003
			JP 2004515934 T	27-05-2004
			WO 0215112 A2	21-02-2002
DE 20115621	U	29-08-2002	DE 20115621 U1	29-08-2002
			EP 1298066 A1	02-04-2003
EP 1083519	A	14-03-2001	CN 1296340 A	23-05-2001
			EP 1083519 A2	14-03-2001
			JP 2001141816 A	25-05-2001
			ZA 200004751 A	17-04-2001
EP 0794520	A	10-09-1997	US 5754110 A	19-05-1998
			AT 207645 T	15-11-2001
			AU 707913 B2	22-07-1999
			AU 1018997 A	11-09-1997
			BR 9701224 A	25-08-1998
			CA 2199097 A1	07-09-1997
			CN 1170919 A ,B	21-01-1998
			DE 69707528 D1	29-11-2001
			DE 69707528 T2	08-05-2002
			DK 794520 T3	18-02-2002
			EP 0794520 A1	10-09-1997
			ES 2166480 T3	16-04-2002
			IL 120038 A	31-08-2000
			JP 11003476 A	06-01-1999
			NZ 314069 A	24-06-1997
			TW 392132 B	01-06-2000
US 4673923	A	16-06-1987	CA 1269737 A1	29-05-1990

フロントページの続き

(81)指定国 AP(GH,GM,KE,LS,MW,MZ,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AT, BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HU,IE,IT,LU,MC,NL,PT,RO,SE,SI,SK,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA, GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BR,BY,BZ,CA,CH,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,DZ, EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KP,KR,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,M N,MW,MX,MZ,NI,NO,NZ,OM,PG,PH,PL,PT,RO,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SY,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,YU ,ZA,ZM,ZW

(72)発明者 アーロン・エム・ローゼンフェルド

アメリカ合衆国 9 4 3 0 3 カリフォルニア州パロ・アルト、ウォーレン・ウェイ 8 5 9 番

Fターム(参考) 3E062 AA04 AB02 AC03 DA02 DA08

3E093 AA02 AA15 BB02 EE20

5C084 AA03 AA09 CC35 DD87 GG07 GG09 GG56 GG57

5K012 AA01 AB03 AB05 AC06 BA03 BA07